

矢向あけぼの保育園だより 2024年度 4月号

今年、桜が咲き誇る春らしい景色のなか、49名の園児で新年度がスタートしました。今年度は、3月の下旬に新しいクラスでの生活がスタートしていたからか、日一日と慣れてきて保育士とも少しずつ関係ができてきました。子ども・保護者の方々が安心して過ごしていけるよう職員一同、力を合わせて保育を進めていきたいと思っております。



この度、第三者評価の評価結果が公表されました。保護者の方々にも、アンケートなどのご協力をいただきありがとうございました。評価結果を受け次回(昇進)までに少しでも前進していけるよう努力をしていきたいと思っております。公開されているサイトは下に記載しておきました。ぜひ閲覧していただけたらと思います。

新着評価結果一覧 | 神奈川県社会福祉協議会 (<https://kanagawa-hyouka.com/news>)
福祉サービス第三者評価機関 株式会社フィールドセホナ (<https://www.fieldsehonan.jp>)

2024年3月7日

2024年3月12日

《10周年を迎えました。》

今年度、矢向あけぼの保育園の開園10周年になります。開園当時、0歳児だったお子さんは、10歳になっていると思うと感慨深いものがあります。昨年度の中学生の職業体験で来園した学生さんは、矢向あけぼの共同保育所の卒園児でした。この地域に根差し保育という現場を通して地域と共に作りあげてきた歴史を振り返る節目の年だとも思います。これまで矢向あけぼの保育園に、関係しての方々と今現在通っていた子ども・保護者と一緒に集える場を設けたいと考えています。詳細が決まり次第、お知らせを出していきますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

《防災対策について》

最近、日本だけでなく様々な地域で大きな地震がおきています。いつ起るかわからない地震災害は、予測がつかない分、日ごろの備えが大切だと言われています。先月に保育中に地震があった時も、保育士の「地震だよ」の声かけだけで、すぐに集まり頭を守るダンゴ虫ポーズをしっかりとっていました。保育園では、毎月避難訓練を行っていますが、様々な事を想定して今後とも訓練の強化をしていきます。その他、園内の落下防止対策なども工務店さんと相談し準備をしています。機能強化も含めて対策をしていきたいと考えています。